



Sponsor a Child

クリスチャンパートナーズ

通信第 82 号

-
- | | |
|---|-----------------------------------|
| ・発行日 / 2010 年 10 月 10 日 | ・発行所 / クリスチャンパートナーズ |
| ・事務局 / 〒422-8053 静岡市駿河区西中原 2 - 7 - 63 - 1001 草野計雄方 | ・Tel / Fax 054-283-9317 |
| ・郵便振替口座 / 00150 - 0 - 134994 | ・e-mail / cnecc-kk@mail.wbs.ne.jp |
| | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/ |
-

「神への捧げ物」 ...旧約聖書から学ぶ...

(旧約聖書創世記 4 章 1 節 ~ 5 節) 理事長 木ノ内 一雄

わたしたち人類の最初の人であるアダムとエバの息子はカインとアベルでした。兄のカインは土を耕す者、弟のアベルは羊を飼う者となりました。二人は主なる神への献げ物として、土の実りと羊の群れの中から肥えた初子を持って来ました。これは神にささげる人類最初の祭儀でした。しかし、主はアベルとその献げ物に目を留められました。カインとその献げ物には目を留められませんでした。なぜなのでしょう。献げ物にどのような違いがあるのでしょうか。わたしたちの目には不思議に思えます。

ノアの時代、神は洪水で世界を滅ぼされました。神はノアに箱舟を作るように命じられ、そこに入った生き物だけが救われました。ノアが箱舟から降りて最初にしたことは主のために祭壇を築くことでした。主は焼き尽くす献げ物の香りを喜ばれ、地を洪水で滅ぼすことは二度としないと誓われました。アブラハムの時代、彼もまた神から約束されたカナンに入った時、祭壇を築き、薪を並べ、小羊を屠って焼き尽くす献げ物としました。モーセの時代、神はエジプトの地で奴隷であったイスラエルの民を解放されましたが、彼らが救われたのは小羊の血によるものでした。その後続く荒野や定住後の生活では幕屋や神殿が祭壇を築く場となっていました。その祭儀の中心は小羊を焼き尽くす献げ物とすることでした。

神は祭儀的に清い動物を選ばれ、その動物を焼き尽くす献げ物とすることによってわたしたちの罪は赦され、神の前に清くされると教えられました。小羊はそれらの清い動物の代表で、祭儀に最も多く用いられました。わたしたちはなぜ小羊なのかと思いますが、信じて小羊をささげることでわたしたちは救われるのであって、それが祭儀でした。

このような祭儀の意味は、神である主イエスが人となってこの世に来られることによって初めて明らかにされました。洗礼者ヨハネは主イエスを「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」と人々に紹介しました。主イエスは十字架で御自身の血を流され、わたしたちの罪の贖いとなられたからです。神は、それを信じる者を救われるのです。

天の父が御自身の独り子をわたしたちのための献げ物とされたのですから、わたしたちもまた何かを献げたいと思うのです。アジアやアフリカでは経済的な理由で学校に行けない子供たちが大勢いますが、このような子供の学費を援助することも又、神への献げ物の一つとなります。皆様の尊い献金と子供たちへの祈りを感謝致します。

インドネシア、西カリマンタン州ロバン村教会のトーマス・ジュニアルディ牧師 (Thomas Juniardi) より、2009年の年次報告が、今年4月に到着しました。

支援者の皆様、

主イエス・キリストの御名によって、皆様にご挨拶をお送りします。

私たちは、神様が何年にもわたって、ロバン村教会を守り導いてくださっていることを感謝しております。ここに、この地での伝道状況についてご報告申し上げます。

教会の土地建物購入：

初め私たちは、現在教会のあるところの近くの更地を買いたいと思いましたが、しかし、土地の所有者は、それを教会に売るとイスラムを信ずる友人たちから、キリスト教を利することになると非難されるのを恐れて、売ってくれませんでした。

現在の教会の土地・建物の所有者は売却を急いでいましたが、価格を下げる条件として、裏に隣接する空き地も一緒に買って欲しいと言い出しました。もし、私たちが買わなければ、仏教寺院に売るといのです。

多くの祈りが捧げられ、ついに西カリマンタンのCNEC長老会は、現在の教会とその空き地を共に購入することを決意しました。パートナーズ インターナショナルのシンガポール事務所がこれを支持してくれました。それには、日本のクリスチャン パートナーズからの多額の献金と、マレーシアの一人からの寄付が加わって、可能になったのです。



購入が決定した会堂と玄関ロビ

《注 ロバン村の中に位置する教会にとって、この不動産取得は長年にわたる夢で、同時に難問でもありました。クリスチャン パートナーズが親しく関わりを持ち、理事たちも数度にわたって訪問したところですが、20年近くかかってようやく教会が此処を所有することになったのです。このために特別な献金をしてくださる会員方があって、実現しました。》

ロバン教会のSAC里子たちの近況をお知らせします。教会に集う子供たちの必要を、皆様が長年にわたって支援してくださっていることに心から感謝します。子どもたちはよく勉強し、教会学校に出席しています。

ロバン村には子供たちのための娯楽は多くありませんから、私たちが計画する活動には多数参加します。教会学校に出席する125名の子供たちのうち、51名がSAC里子です。教会学校は日曜日7時から始まります。10時から始まる若者達の集いには20名が出席し、同じく10時に始まる礼拝には大人20名が出席します。

《注 51名中、クリスチャンパートナーズが支援している里子は47名》



クリスマスの祝賀会のために、子供たちは11月からダンス・劇・合唱の準備を始めました。12月25日には、170人が集まってお祝いをしましたが、その中には新しい人が100人いました。シンカワン教会のマテオス牧師が来訪し、クリスマスの説教をしてくださいました。

教会学校のクリスマス祝会

今年4月2日には、復活祭を祝ってサムドラ海岸まで出かける計画を立てました。23人が参加しました。海岸で、ジュニアルディ牧師が説教をしました。神様の造られた大自然を皆で満喫した一日でした。

祈っていただきたいこと：

1. 教会堂の建て替え
2. 未信者に手を差し伸べるための知恵
3. SAC 里子たちの家庭の経済状態の改善
4. 子供たちに知恵と知識が与えられ、勉強に意欲を持って取り組むように。
5. 子どもたちが教会学校に継続的に出席し、精神的成長ができるように。
6. 牧師の家族が主に守られ、導かれて、よき働きが継続できるように。



サムドラ海岸で

主にあって祈ります。 トーマス・ジュニアルディ

奨学金をお送りしていた、ATI 神学校のエピア兄、ベリアナ姉と、タンジュンプラ大学のデフィさんの3人が卒業し、高橋めぐみ宣教師を通してクリスチャン パートナーズにご挨拶をいただきました。翻訳は稲葉さんです。

ベリアナ ATI 神学校卒業

イエスキリストが私を僕^{しもべ}として選んでくださり、神様の大きな愛によりアンジュンガンの ATI 神学校という素晴らしい場で機会と奉仕の場を用意してくださったことに最高の感謝と喜びを捧げます。5年半の間に、神様は私に挑戦する機会を与えて下さり、たくさんのお悩みや苦労が私の前に立ちはだかりましたが、その全てを無事に乗り越えることができました。それは偶然のことではなく、全ては神様が私の将来のために用意してくださったものです。



左エピア兄、右ベリアナ姉

ATI 神学校での学びは本当に素晴らしく賞賛いたします。ここは伝道者となる希望を持つ学生たちが学ぶ場として、将来どこでも奉仕できる人材を作るための卓越した場所です。ここでは一般教養、実務、そして奉仕の三つが学べるようになっていきます。神様の僕になるには精神面だけでなく、実生活の訓練も行われています。

私にここで学ぶ機会を与えてくださり、学費やお祈りのご支援で支えてくださったクリスチャンパートナーズの皆様に大変感謝いたします。皆様のご支援のおかげで、私は最後まで無事に勉強することができました。私はこれから神学校が用意して下さる短期間の奉仕の研修に入ります。将来は牧師（神様の使い）になれますように、どうかお祈りのご支援をよろしくお願いいたします。

《ベリアナさんは、現在ポンティアック市内にある女子学生のためのザイトン寮で、寮長として奉仕されています。「通信」第78号でご紹介した奨学生のデピさんとダミさんが寄宿しています。》

エピア ATI 神学校卒業

主の御名を讃美いたします。

神学校での5年半の学ぶ機会を与えてくださったイエスキリストに感謝を捧げます。神様の大きな愛と恵みによって、私は学生生活で沢山の喜びと苦しみの経験をしました。1年間の実習奉仕の期間には、投げ出したい気持ちになったこともありましたが、神様は私に力と勇気を与えてくださり、全てを終了することができました。

クリスチャンパートナーズの皆様からのお祈り、学費や励ましのご支援によって、私はこの愛すべき学び舎から卒業することができました。心から感謝致します。卒業論文も無事に完成させることができ、全ては神様のお助けがあったからです。

研修期間には、私は「シンタン キリスト教同盟教会」で奉仕することになりました。どうか新しい魂が救われますように、神さまの導きがありますように、お祈りの支援をお願いいたします。それに加えて、私がいつまでも神さまに奉仕する気持ちと勇気を持ち続け

られるように、お祈りをお願いいたします。ありがとうございました。

デヴィ スサンティ タンジュンプラ大学卒業

尊敬するクリスチャンパートナーズの皆様

神さまのお助けと、皆様からの学費支援とお祈りにより、私はタンジュンプラ大学教育学部を良い成績で卒業することができました。2005年に入学し、合わせて9学期(4年6ヶ月)で2010年1月4日に学業を終了し、卒業式は2010年2月27日でした。

学生としてたくさんの挑戦に向き合いましたが、全てを終えることができました。それは主イエスキリストがいつでも私と共に居てくださったからです。

クリスチャンパートナーズの皆様が私のために学費とお祈りのご支援をくださったことに、心から感謝いたします。神様はきっと皆様のご奉仕とお働きの上にたくさんのお恵みを注いでくださることと信じております。

勉強は終了しましたが、これからも私の将来のために皆様がお祈りでご支援くださることをお願いします。将来、私が良い教師になれるように、生徒たちを正しく育てることができるよう、そして彼らを国や国民、それから神様のために役に立つ人材にできるように、どうか合わせてお祈りをお願い致します。 祈りと感謝と共に、**デヴィ スサンティ**



《「通信」第72号p4に、デヴィさんの証が載っています。お名前をデヴィとしてありますがデヴィが正しいようです。下段の写真はデヴィさんではなく、イカさんでした。お詫びして訂正いたします。イカさんはインマヌエル中学校で理科系の指導をしておられます。「通信」第80号p3》



後列：竹澤、草野、鳥海理事
前列：木内理事長、ルイス氏、宮澤理事

PI 米国総主事ジョン・ルイス氏は、タイ・ラオス・カンボジア訪問の帰途、日本を再訪されました。木内理事長宅に滞在し、理事会に出席、メコン河流域の国々における人々の暮らし、キリスト教伝道が直面する困難・危険、将来の希望について語ってくださいました。

また、PI 米国に若い理事を入れ、70歳以上の元理事の経験を活かす助言者グループを組織したことなどを報告されました。理事会後、夕食を共にしました。松本繁雄顧問が体調を崩してご欠席だったのは残念でした。

【理事会報告】第163回理事会は2010年7月22日(木)一ツ橋学士会館で開催。米国PI J.ルイス総主事陪席。前回議事録承認。2010年6月度会計報告承認。2009年度決算・予算承認。予算の配分については次回協議。木内理事長のガーナ訪問は、来年訪問を予定しているルイス氏に同行することに変更。今秋のCEO会議は米国スポーケン市で9月27~30日開催、理事長出席予定。「通信」第82号の内容は口バン教会の年次報告と、高橋宣教師の指導を受けて卒業した奨学生からの挨拶などで、次回理事会後に会計報告と共に発行予定。理事会終了後、ルイス氏からラオス・カンボジア訪問と、米国PIの現状報告があり、歓迎の夕食会を開催。

第164回理事会は2010年9月13日(月)一ツ橋学士会館で開催。前回議事録承認。2010年7・8月会計報告承認。卒業した元奨学生の写真と文を回覧。ガーナからの洪水のための支援要請には、送金手続き困難のため見合わせ。CEO会議に日本の会計報告提示の予定。「新援助規定」が理事長から提示され、今後協議する。

第165回理事会は2010年11月8日(月)一ツ橋学士会館で開催予定。

編集後記 猛暑の日々、皆様 かがお過ごしでしたか。クリスチャンパートナーズの会計は、ご存知のように6月末で年度が終了し、今回決算・予算を「通信」の別ページとしてお目にかけます。皆様のご協力を心より感謝いたします。支援を必要としている人々は増加の一途を辿り、前途は困難ですが、何卒変わらざるお力添えをお願いいたします。 鳥海百合子